

東京オリ・パラ大会開催への対応について

- 東京オリ・パラ大会の開催を控え、大会の安全・円滑な運営等の確保に向けて、政府一体となって取組みを推進しているところ。金融機関においては、重要インフラ事業者として、金融サービスを安全かつ持続的に提供する必要がある。
- 大会期間中においては、例えば、大規模な交通規制の実施や訪日外国人の増加等による外部環境の変化に伴い、従業員の出勤や現金の輸送、両替対応など、幅広い影響が想定される。そのため、特に首都圏の金融機関においては、こうした外部環境の変化に伴うリスクを洗い出し、必要な態勢を構築していく必要がある。
- こうしたオリ・パラ大会の開催に伴い生じるリスクのうち、特に、サイバー攻撃の脅威が益々高まることが想定される。
このため、一部の金融機関との間で東京オリ・パラ大会に向けた対応状況に関する意見交換やアンケート調査を始めているところ、判明した共通課題については、速やかに周知させて頂く。
- 当庁としては、金融機関のサイバーセキュリティの向上には官民が一体となって取組みを推進することが重要であると考えており、こうした観点から、引き続きご協力をお願いしたい。

(以上)